タイの工業政策の新しいフェーズでの日系自動車メーカー／部品メーカーの取り組み」

5 月 17 日(水) **: 13.30-17.30 hrs. GH 201 – 2nd Floor BITEC**

タイではプラユット首相がトップに立って、Thailand 4.0、EEC（Eastern Economic Corridor：イースタン経済回廊）開発プロジェクトを推進し始めた。EEC では、Chachoengsao から Chonburi（Amata Nakorn 工業団地）、Laemchabang 、さらに Rayong（Eastern Seaboard 工業団地）への回廊地帯を、次世代工業のモデル地域として開発していこうとしている。また、自動車産業の重要投資プロジェクトとしては、次世代自動車として EV／AV を挙げている。とくに開発をタイでできるような取り組みを推奨している。

Agenda

13.30-14.00	Registration
14.00-14.05	歓迎の挨拶 Mr. M. Gandhi, Managing Director (ASEAN Business), UBM Asia Ltd.
14.05-14.15	開会の挨拶 辻本　崇紀氏　JETRO Bangkok 次長
14.15-14.20 14.20-14.40	開会の挨拶 パヌワット・トリヤンクンスリー博士　工業産業振興局　副局長 **“EEC – driving Thailand to new stage of advance Automotive HUB”** BOI Executive
14.40-15.10	**“マツダ自動車のタイでのパワートレインおよびエンジン量産での部品調達について“** マツダ自動車はパワートレイン生産拠点としてタイで 2015 年から量産開始、さらにエンジンの量産開始にも取り組んでおられる。現在の部品調達状況について紹介いただき、日本国内のサプライヤーのタイ現地化についてのお考えをお話いただく。 Mazda Powertrain Manufacturing (Thailand) Co., Ltd. President & CEO 向田 光伸 氏
15.10-15.40	**“ホンダエンジニアリングのタイでの取組みの紹介”** ホンダエンジニアリングはホンダの生産技術を担当する会社である。1999 年 4 月からタイで Honda Engineering Asian Co., Ltd.を設立。ホンダエンジニアリングの特長としては、金型をタイ国内でも開発・生産していることで、それらの取組みについてご紹介いただく。 Honda Engineering Asian Co., Ltd. President 佐々木 静哉 氏
15.40-16.00	Coffee break
16.00-16.30	“**クラッチメーカー EXEDY　摩擦材のタイでの開発と現地人材育成について”** クラッチメーカーの EXEDY が、摩擦材の中央研究所をタイでスタートされ、その内容と、現地人材育成および現地に根付いた経営の取り組みについて、お話しいただく。 EXEDY Friction Material CO., LTD. President 後藤 智詔 氏
16.30-17.00	**“日系自動車メーカーの取り組みを金型等川下側から考える”** 世界の金型・部品生産の状況に通じておられる講師に、ASEAN での日系自動車メーカーの取り組みと金型・部品調達についてのお考えをお聞きし、タイについての評価をお話しいただく。 日本工業大学 客員教授、日本金型工業会 学術顧問 横田 悦二郎 氏
17.00-17.30	質疑応答 モデレーター：クロスロードキャピタル 社長 辻佳子

Remarks: We have a right to change schedule without prior notice　　**Rev. 6_04052017**